

**令和7年度
四国地方整備局インフラDX
推進本部会議**

令和8年3月4日(水) 10:00~11:00

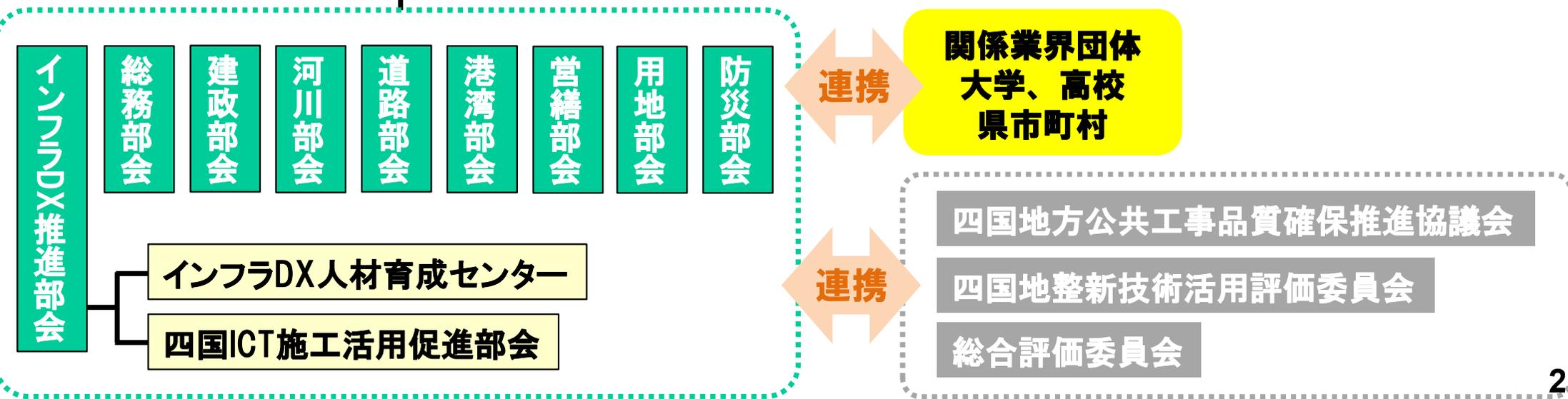
四国地方整備局におけるインフラDX推進体制の構築

四国地域において、地域住民のニーズを基にデータとデジタル技術を活用し、社会資本整備や公共サービスの改革を推進すると共に、業務そのものや、組織、プロセス、建設業や四国地方整備局の文化・風土や働き方を改革し、建設業の生産性の向上を図ると共に、インフラへの国民理解を促進し安全・安心で豊かな生活を実現するため、各部局が横断的に連携してインフラ分野のDXを推進することを目的に、「四国地方整備局インフラDX推進本部会議」を設置する。

令和3年8月24日設置

四国地方整備局インフラDX推進本部会議
 ※既存「i-Construction推進本部会議」を改編
 [本部長]局長 [副本部長]次長、次長(兼総務部長)
 [本部員]企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長、統括防災官

四国地方整備局インフラDX推進本部会議幹事会
 [幹事長]企画部長 [副幹事長]企画調査官
 [幹事]総括調整官(建設)、広報広聴対策官、技術調整管理官、技術開発調整官、建設産業調整官、河川情報管理官、道路情報管理官、事業計画官、官庁施設管理官、用地調査官、総括防災調整官、四国技術事務所長、高松港湾空港技術調査事務所長



※令和6、7年度以外は幹事会の記載を省略

令和3年8月24日（火） 令和3年度 第1回 四国地方整備局インフラDX推進本部会議（WEB）
 1. 四国地方整備局インフラDX推進本部会議の設置
 2. 【講演】「建設現場における生産性向上、DXの推進に向けた取組」（一社）日本建設業連合会

令和4年3月15日（火） 令和3年度 第2回 四国地方整備局インフラDX推進本部会議（WEB）
 1. 四国として進めるインフラDXの方向性 2. 各部会の取り組み

令和5年3月14日（火） 令和4年度 四国地方整備局インフラDX推進本部会議（WEB）
 1. 各部会のロードマップの令和4年度の実施状況と令和5年度の予定

令和6年3月21日（木） 令和5年度 四国地方整備局インフラDX推進本部会議
 1. 四国のインフラDXの取り組み状況と令和6年度の予定

令和6年6月12日（水） 令和6年度 第1回 四国地方整備局インフラDX推進本部 幹事会
 1. 各部会のDXの取り組み状況と令和6年度の予定 2. 職員向けのDXの推進について

令和6年12月5日（木） 令和6年度 第2回 四国地方整備局インフラDX推進本部 幹事会

令和7年2月 4日（火） 令和6年度 第3回 四国地方整備局インフラDX推進本部 幹事会

令和7年2月25日（火） 令和6年度 四国地方整備局インフラDX推進本部会議
 1. 規約改正 2. インフラDXの取り組み状況と令和7年度の方針

令和7年6月23日（月） 令和7年度 第1回 四国地方整備局インフラDX推進本部 幹事会

令和7年12月2日（火） 令和7年度 第2回 四国地方整備局インフラDX推進本部 幹事会

令和8年2月3日（火） 令和7年度 第3回 四国地方整備局インフラDX推進本部 幹事会

令和8年3月4日（水） 令和7年度 四国地方整備局インフラDX推進本部会議

・インフラDXの取り組み状況と令和8年度の方針

令和8年春、秋 令和8年度 四国地方整備局インフラDX推進本部 幹事会

令和8年度末 令和8年度 四国地方整備局インフラDX推進本部会議、幹事会





方向性		R6年度まで	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
地域建設業の担い手確保	生産性の向上 (デジタル技術の活用促進)	i-Constructionの推進 ▶点検支援技術活用の原則化 ▶PASの試行 ▶点検ロボの活用(港湾)	i-Costruction2.0 ~ICT施工ステージⅡ ICT土工、ICT浚渫工(河川)の原則化 ▶ICTを活用した計測技術の向上	建設現場の生産性 2割向上 i-Con2.0: 2040年までに3割の省人化		
	人材育成	受発注者研修等	受発注者研修等の拡充 (ICT活用、BIM/CIM、UAV等) ▶ICT講習の拡充、民・学へ拡大 ▶DXの普段使いに向けた研修等の充実			
	環境整備		DX人材育成センターの整備 ▶2月2日開所、実践力のある人材育成を推進			
	関係機関との連携		関係機関との連携強化 (アドバイザーの拡充、コミュニケーション等) 関係機関との協働 (DX省人化モデル工事等) ▶DXモデル工事拡大・継続			
	広報の推進		『新しい“カッコイイ”建設業』をPR (動画作成、見学会等の開催、マスコミへのPR等) ▶オフィシャル広報 ▶パートナー制度スタート ▶BIM技術等を活用した現場見学研修で技術力向上			
行政手続きや暮らしにおけるサービスの改革	行政手続きの電子化		行政手続きの電子化等 (許認可業務の電子化、効率的な審査方法等)・サービスの改革 ▶河川許可の電子申請化拡大 ▶工事・業務成績評価WEB公表開始			
	オープンデータ化		デジタル技術の活用によるイノベーションの推進 ▶三次元管内図の整備 (河川管理システム構築) ▶河川流域データプラットフォームの整備			
四国地方整備局職員の働き方改革	業務の自動化・効率化、環境整備		WEB会議の標準化、RPA導入・生成AIによる業務の自動化・効率化 ▶RPAの活用拡大 ▶Teams、Forms、RPAの業務活用の浸透、生成AIの活用 DXルームの整備、高性能PC等の段階的配備、高速通信網等の環境整備 ▶全事務所無線LAN、高速通信網化			
	管理の高度化・効率化		河川管理・道路管理・港湾技術等の高度化・効率化 ▶DXモデル出張所(国道)の環境整備 ▶ドローン、AI等を活用した管理の高度化			
	災害対応の高度化・効率化		災害対応の高度化・効率化 (情報収集・分析・共有、自治体支援活動) ▶TEC-FORCEアプリの実践 ▶ドローン調査結果の活用			

四国で進めるインフラDXの取り組み

- 令和7年度は生産性向上／デジタル技術活用促進等「48」の取り組みを実践
- ICT施工の遠隔化・自動化への拡大やBIM/CIMの活用、各種デジタル技術の普段使いが広がりつつある。
- 令和8年度も継続しデジタル技術の「普段使いの拡大」を目指し、DXを「実践」していきます。

3つの方向性／48の取組（R7年度の取り組み数）

	方向性	取組数	計
I. 地域建設業の担い手確保	1. 生産性向上／デジタル技術の活用促進	14	18
	2. 人材育成、環境整備	1	
	3. 関係機関との連携	2	
	4. 広報の促進	1	
II. 行政手続きや暮らしにおけるサービスの改革	1. 行政手続きの電子化	3	4
	2. オープンデータ化	1	
III. 四国地方整備局職員の仕事改革	1. 業務の自動化・効率化、環境整備	11	26
	2. 管理の高度化・効率化	11	
	3. 災害対応の高度化・効率化	4	
計		48	

令和7年度 DX取り組み一覧		方向性
1	【建政部会】 讃岐まんのう公園の運営維持管理の効率化	I-1
2	【河川部会】 排水機・樋門等の遠隔操作化	I-1
3	【河川部会】 ダム点検時における水中ドローンの活用 新規	I-1
4	【河川部会】 CIMを活用した地すべりブロックの3次元化	I-1
5	【河川部会】 砂防現場DX 遠隔化施工 新規	I-1
6	【河川部会】 マルチビーム及びグリーンレーザ(ALB)を用いた地形測量	I-1
7	【道路部会】 施工者提案を積極採用により定形作業を効率化	I-3
8	【港湾部会】 ICT技術を活用した施工の推進	I-1
9	【港湾部会】 点検ロボを活用した港湾施設の維持管理	I-1
10	【港湾部会】 合成3次元データ活用による航路管理の効率化 新規	I-1
11	【港湾部会】 CIMを活用した施工手順等の確認 新規	I-1
12	【営繕部会】 建設現場の遠隔臨場の本格活用	I-1
13	【営繕部会】 ICT建築土工を活用した施工(試行)	I-1
14	【営繕部会】 EIR*を適用したBIM活用の運用	I-1
15	【DX推進部会】 パワーアシストスーツ(PAS)の普及促進	I-1
16	【DX推進部会】 最新技術を活用したインフラDXモデル工事	I-3
17	【DX推進部会】 広報の取り組み	I-4
18	【DX推進部会】 インフラDX人材育成	I-2
1	【建政部会】 自治体のまちづくりにおけるDXの推進支援	II-2
2	【河川部会】 河川法に係る許可申請の電子申請	II-1
3	【河川部会】 ワンコイン浸水センサ実証実験	II-1
4	【用地部会】 リモートによる用地事務等の推進について	II-1
1	【総務部会】 RPA等の導入による効率化について	III-1
2	【建政部会】 審査業務、打合せ等の効率化について	III-1
3	【河川部会】 ドローン(UAV)を活用した河川巡視	III-2
4	【河川部会】 越流等検知装置の開発	III-2
5	【河川部会】 ダム CCTV 巡視・点検	III-2
6	【河川部会】 AIを活用したダム管理	III-2
7	【河川部会】 デジタルツインによるダム管理の高度化・効率化	III-2
8	【道路部会】 点検支援技術活用による道路点検の効率化	III-2
9	【道路部会】 交通障害自動検知システムで道路異常の早期発見	III-2
10	【道路部会】 VR動画活用した臨場感ある研修で技術力向上	III-1
11	【港湾部会】 ICT技術を活用した計測技術の向上	III-1
12	【港湾部会】 CIMデータを活用した航路維持管理	III-2
13	【営繕部会】 タブレット端末とクラウドサービスを活用した官庁建物実態調査の効率化 新規	III-2
14	【営繕部会】 遠隔臨場を活用した官庁建物実態調査の効率化	III-1
15	【用地部会】 RPA等の導入による事務の効率化について	III-1
16	【用地部会】 他機関等とのシステム連携による事務効率化について 新規	III-1
17	【防災部会】 [情報収集]情報収集ツールの高度化、ドローンの運用者育成・自動運転化、Car-SAT、StarLink	III-3
18	【防災部会】 [情報分析]高精度な浸水状況自動検出システムの活用、情報収集の自動リアルタイム化	III-3
19	【防災部会】 [情報共有]被害情報の自動反映(ドローン調査結果、Car-SAT映像等)、TEC-FORCE支援アプリ、国・自治体双方からの被害情報登録	III-3
20	【防災部会】 ドローン調査結果の活用	III-3
21	【DX推進部会】 RPAの導入による効率化について	III-1
22	【DX推進部会】 受発注者双方の労働生産性向上・業務効率化	III-1
23	【DX推進部会】 排水ポンプ車状態監視装置の整備	III-2
24	【DX推進部会】 機械設備の点検合理化技術活用による効率化	III-2
25	【DX推進部会】 職員向けのDX推進	III-1
26	【DX推進部会】 職員の働き方変革	III-1

令和7年度の重点取り組み

テーマ1：「地域建設業の担い手確保」

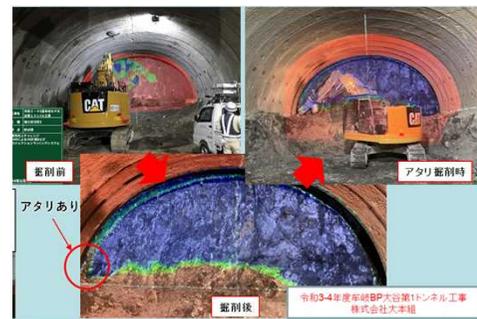
1. i-Construction2.0等の実践

- ・ 施工現場のオートメーション化、省人化に向けi-Con2.0やStageII進める必要。

- ① 抜本的な生産性向上を実現するため、大規模な土工の現場において、ICT施工StageII相当の工事に取り組む



建設機械やダンプの稼働状況をリアルタイムに把握し、土量に適した資機材の配置を見直し

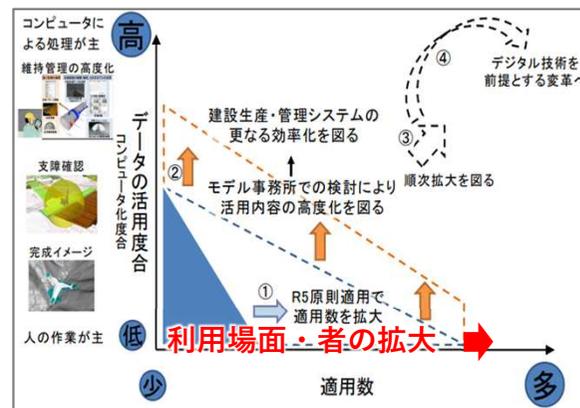


LiDARとプロジェクションマッピングにより掘削面の状況を確認した例

2. BIM/CIM活用の実践

- ・ 令和5年度にBIM/CIM原則適用が始まり、業務・工事とも活用が増えているが、活用効果の発揮には、活用シーン等の拡大・職員が日常的に触れる機会が必要

- ① 令和7年度は、設計説明会、現場見学会、三者会議研修などの場でBIM/CIMを活用する



BIM/CIM展開のイメージ

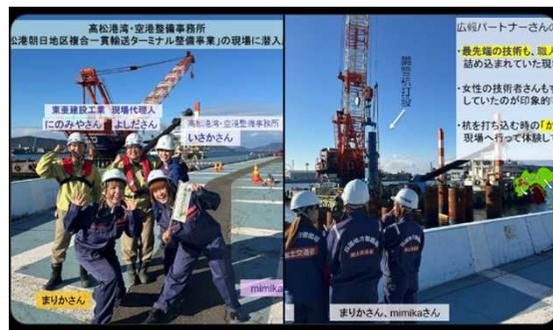


段階確認の際、ARによる出来形ヒートマップを用いた例

3. 「見せる（魅せる）現場」の設定

- ・ ICTやBIM/CIMなどは工事・業務単発での活用が多く、本来のデータ連携に生かせていない。

- ① ICT/i-ConやBIM/CIMを集中的に取り組む事業・工区（地区）を各事務所等で設定し、データ連携の効果を発揮につなげる
- ② 見学会や体験会等を通じ、対外的に見せて行く



オフィシャル広報パートナーによる発信



インフラDXモデル工事での参観日の様子

以上を各部会で取り組む。

令和7年度の重点取り組み

テーマ2：「行政手続きや暮らしにおけるサービスの改革」

- ・ 四国地整（ホームページ）での、手続きやデータの公開状況は下表のとおり
- ・ 引き続き、**行政手続きのデジタル化やデータ公開**に努める。

行政手続等のデジタル化一覧（1/2）

部名	名称	オンライン申請	申請様式公開	データ公開	備考
総務部	1 情報公開 開示請求	○	○	-	
	2 入札 電子契約システム	○	○	○	
	3 競争参加資格審査申請	○	○	-	
	4 国有財産先着順売却	-	○	-	
	5 災害用備蓄食品の有効活用について	○	○	-	
	6 社会人経験者採用 個別WEB説明会	○	○	-	
	7 採用面接事前予約	○	○	-	
企画部	1 四国地方整備局の予算	-	-	○	メールかFAXで申請
	2 出前講座	○	○	○	メールかFAXで申請
	3 工事現場等見学ガイド	○	○	-	
	4 インターシップ	○	○	-	
	5 インフラツーリズム	-	-	○	
	6 オフィシャル広報パートナー取材申し込み	○	○	-	
	7 ICT専任講師の登録	○	○	-	
	8 四国内の工事・業務の発注見直し情報	-	-	○	
	9 橋梁点検車の貸与について	-	○	-	
	10 河川・道路管理用光ファイバー及び収容空間の民間開放	-	○	-	
	11 工事関係書類	-	○	-	
	12 土木営繕工事関係書類	-	○	-	
	13 技術検定合格証明書関係	-	○	-	
	14 橋梁点検車の貸与について	-	○	-	
	15 災害時における緊急復旧等の実績確認書交付申請書	-	○	-	
建設部	1 建設業許可申請	○	○	-	
	2 経営事項審査	○	○	-	
	3 宅地建物取引業の免許申請	○	○	-	
	4 マンション管理業の登録申請	-	○	-	
	5 マンション管理業務主任者の登録	-	○	-	
	6 賃貸住宅管理業者の登録	○	○	-	

行政手続等のデジタル化一覧（2/2）

部名	名称	オンライン申請	申請様式公開	データ公開	備考	
建設部	7 不動産鑑定士の登録	-	○	-		
	8 不動産鑑定業者の登録	-	○	-		
	9 住宅宿泊管理者の登録	○	○	-		
	10 測量業者の登録	○	○	-		
	11 建設コンサルタントの登録	○	○	-		
	12 地質調査業者の登録	○	○	-		
	13 浄化槽整備士免状の交付・書換え・再交付	-	○	-		
	14 住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置状況の届出	○	○	-		
	15 造園施工管理技士証明書の書換え・再交付	-	○	-		
	16 宅地造成規正法施工令に基づく擁壁認定	-	-	○		
	17 登録住宅性能評価機関の登録	-	○	-		
	18 登録省エネ判定機関の登録	-	○	-		
	河川部	1 河川法に係る許可申請書について	○	○	-	電子メールによる受付（事前に窓口への問い合わせが必要）
	道路部	1 特殊車両に係る申請手続き	○	○	-	
		2 道路占用許可に係る申請手続き	○	○	-	申請様式はシステム利用申請書を掲載
		3 承認工事に係る申請手続き	○	○	-	（申請様式等公開準備中）
		4 道路予定区域の土地の形質の変更等許可	○	○	-	（申請様式等公開準備中）
		5 道路交通の現状・交通量データ（交通量）	-	-	○	
6 道路交通の現状・交通量データ（交通事故状況）		-	-	○		
7 道路台帳		-	-	○		
8 区域変更・供用開始等の告示・縦覧資料		-	-	○		
港湾空港部	1 PSカードに関する各種手続（出入管理情報システム）	○	○	-		
	2 オンライン申請が可能な手続一覧（本省で受け付ける手続、令和3年11月1日現在）：87手続	○	-	-	https://www.mlit.go.jp/co/mmon/001442292.pdf	
	3 高知港海岸の占用等の申請手続き	-	○	-		
	4 海とみなとの相談窓口	○	-	-		
	5 国際物流目安箱	○	-	-		
	6 災害用備蓄食品の有効活用	-	○	-		
営繕部	1 施工管理技術検定関係	-	○	-		
用地部	1 補償コンサルタント登録等	○	○	-	e-Gov	
計		30 手続き	46 手続き	10 手続き		

テーマ3：「四国地方整備局職員の働き方改革」

① 事務所マネジメントへのDX活用

●各事務所の課題を抽出して事務所マネジメントにDX技術を活用

- ex) 事業の発注～完成、維持管理、開通に向けた関係部署間のマネジメント等
- ・時間軸に応じた課題を見える化、情報共有、フロントローディングにより、手戻り・遅延・停滞を回避したマネジメントを実践
 - ・職員（事務・技術）、受発注者間等の関係者との連携を意識

●実践した結果の取りまとめ・評価を通じ横展開を図る

② 業務の取捨選択とデジタルツールの積極的活用

●DX推進体制の強化

- ・各部会・事務所にDXマネジメント者、推進リーダーを配置しDX推進体制を強化
- ・「マネジメント者」による真に行うべき業務の取捨選択
- ・「推進リーダー」を中心に、DXの一層の活用・実践により職員の働き方改革を更に推進

●DXの普段使いの実践

- ・Teams、Forms等の普段使い（効率化ツールや個別テクニックの展開を継続）
- ・好事例の横展開（勉強会、セッション等の開催継続：定期的で開催）

令和7年度の重点取り組み

テーマ1：「地域建設業の担い手確保」 1. i-Construction 2.0等の実践（代表事例）

地域建設業 担い手確保：生産性の向上

ICT施工の推進で生産性向上

- ICT活用工事は年々増加。近年では、自動施工・遠隔施工などの取り組みを実施
- 今後も様々なICT施工を継続して推進するとともに、施工のオートメーション化などの生産性向上に取り組む

遠隔施工の取り組み【河川部会】

遠隔による無人化施工により
施工業者の安全性を確保

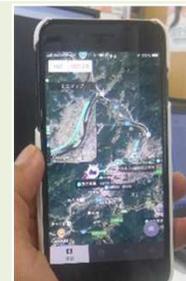
効果

- 施工業者の安全性確保
- 省人化や制度のばらつき
の低減



施工データ(見える化)の活用 (ICT施工Stage IIへ)

運搬車両情報のリアルタイム管理・可視化による車両の速度超過や事故防止、ボトルネック把握による業務の効率化を推進

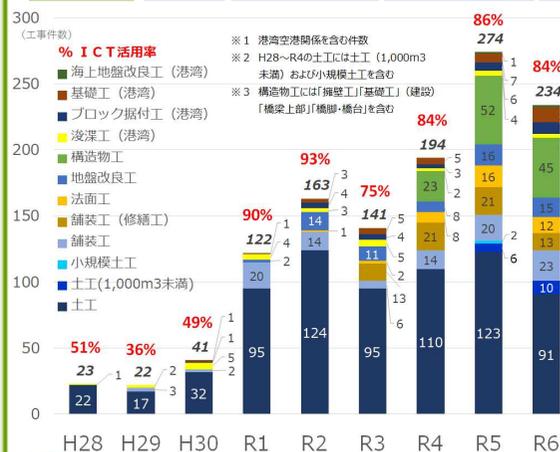


自動施工の取り組み【道路部会】

自動運転施工により削孔作業を全自動化し、操作者を3名から1名へ省人化、精度のばらつき低減を実現



ICT技術を活用した施工の推進【各工事関係部会】



ICT活用工事件数の推移【四国】

令和7年度の重点取り組み

テーマ1：「地域建設業の担い手確保」2. BIM/CIM活用の実践（代表事例）

地域建設業 担い手確保：生産性の向上

BIM/CIMを用いて効率化

- BIM/CIMの活用が増加。引続きデータ連携、品質・生産性向上を目指す
- BIM/CIMデータの施工管理等への活用を広げ、生産性向上を進めていく

効果

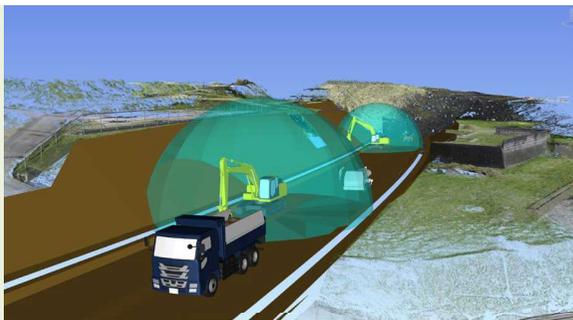
- BIM/CIMの利活用を進めることで、情報一元管理をはじめ、作業の省力化・効率化が期待

BIM/CIMの原則適用（普段使いへ）

好事例

BIM/CIMの活用事例

- CIMモデルの活用による安全教育の実施



(事例：R7ICT活用工事事例集)

- CIMモデル活用による配筋の干渉チェック



(事例：R7ICT活用工事事例集)

- BIM/CIMモデルを活用したコミュニケーションシステム
詳細箇所や問題点の事前把握・対応、具体的な仮設計画の立案の他、工事説明や現場対策などの打合せに活用



効果

- 苦情・トラブルの無い円滑な工事進行
- 現場イメージの共有による手戻り防止

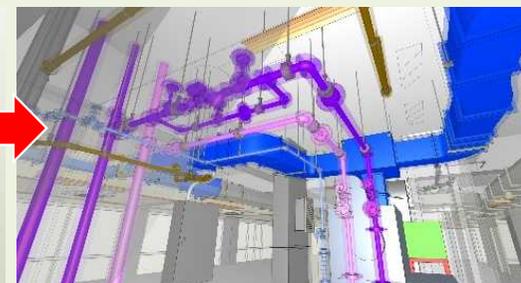
(事例：R7ICT活用工事事例集)

BIMを活用し業務及び工事の効率化【営繕部会】

- BIMの活用による設備配管等の干渉チェック



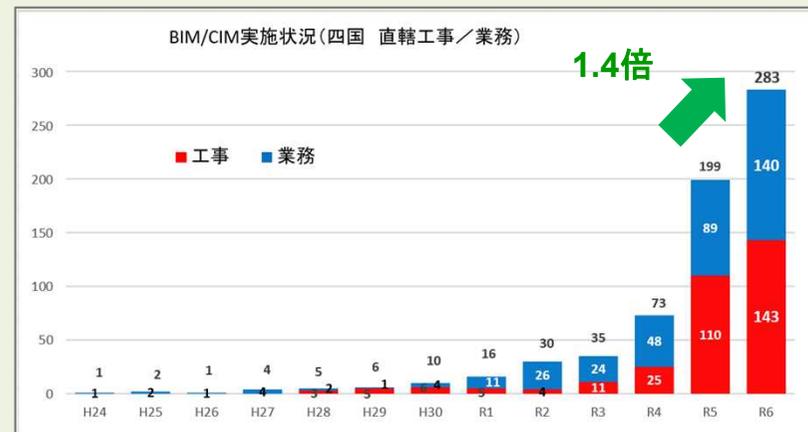
庁舎空調設備改修工事



3階 機械室干渉チェック

BIM/CIMの活用状況

- BIM/CIMの活用が業務・工事とも増加。令和5年から令和6年の1年間で約1.4倍



令和7年度の重点取り組み

テーマ1：「地域建設業の担い手確保」3. 「見せる（魅せる）現場」の設定（代表事例）

地域建設業 担い手確保：広報の推進

多様な広報を実施

◆四国管内の“旬”な現場の紹介を通じ建設業の面白さを伝える

- DX関係技術により変化する建設業をメディアや見学会を通じて広報
- SNS等を通じて発信し、若い世代へ身近なものとして興味を引き出すオフィシャル広報パートナーとの連携
- カッコいい・魅力ある四国の建設業の広報を、関係機関と連携し実施



普段入る事の出来ない工事現場やインフラ施設など今が旬の“**押し現場**”を見学できる取り組みを実施！

現場へ行こう！ホームページ



現場へ行こう！

現場へ行こう！ロゴマーク



現場へ行こう！サイト



◆四国地方整備局オフィシャル広報パートナー制度

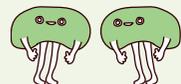
次の担い手へつなぐことを目的に、建設産業の魅力等についてSNSを通じてわかりやすく情報発信してもらう、**四国地方整備局オフィシャル広報パートナー**を設置！



四国地方整備局オフィシャル
広報パートナーロゴマーク

◆インフラDXモデル工事現場見学会/参観日開催（R8/1/16, 17）

- 『建設DX参観日』今治市・松山市の小学生計91名と保護者計68名が参加
- 『インフラDXモデル工事見学会』四国内の建設業者等79名、愛媛県内公共工事発注者49名（8機関）が参加



最新技術の体験！
進化し続ける
建設業をPR！



現場へ行こう！

「現場へ行こう！」建設産業の未来が詰まっている！四国インフラDX人材育成センター独占潜入！ - YouTube 11

女性が活躍する建設現場を紹介

令和7年度の重点取り組み

テーマ2：「行政手続きや暮らしにおけるサービスの改革」(代表事例)

行政手続きや暮らしにおけるサービスの改革

オープンデータ化

- 行政手続きの電子化を推進し利用者等の利便性・サービスの向上を図る
- 行政情報のデジタル化とデータのオープン化を進めていく

効果

- 利便性向上による行政や市民サービスの向上
- データのオープン化による新たな可能性を創造

河川法に係る許可申請の電子申請【河川部会】

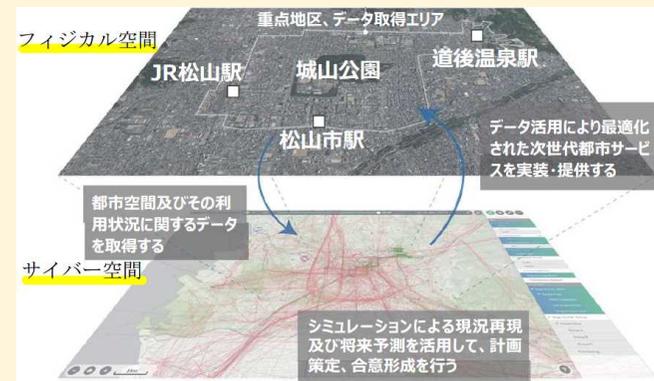
電子メール申請ポータルを整備し、電子メール申請ポータルから管内各事務所の申請窓口へアクセス可能

提出先となる申請窓口(連絡先)	対象となる河川	Eメールアドレス
吉野川下流出権所 (0883-24-4334)	吉野川 高津 高津川(吉野川上流) 高津 高津川(吉野川下流)	shc.tokushima@tokushima.jp
吉野川上流出権所 (0883-62-2396)	吉野川 高津 高津川(吉野川上流) 高津 高津川(吉野川下流)	shc.tokushima@tokushima.jp
旧吉野川出権所 (088-692-5355)	旧吉野川 今切川	shc.tokushima@tokushima.jp

河川管理区間

松山スマートシティプロジェクト(松山市)【建政部会】

様々な交通データ等の集約やシミュレーションによるデータ駆動型都市プランニングの実装により、都市空間改変、次世代モビリティ導入等の次世代都市サービスを提供



データプラットフォームによるデータ連携社会を構築

「i-Construction」の取り組みで得られる3次元データを活用し、さらに官民が保有する様々な技術やデジタルデータとの連携を可能にするプラットフォームの構築により、新たな価値を創造

地図・地形データ

気象データ

交通(人流)データ

施設・構造物データ

エネルギーデータ

防災データ



新技術×官民データ

高度な防災情報

3次元化都市データと洪水予測を連携した防災情報の提供し避難行動等を支援。



新たなモビリティサービス

インフラと交通データの連携により最適な移動手段提供等、新たなサービスを実現。



新しいインフラ社会

インフラ自体が情報を持つことで施工や、維持管理が高度化されるインフラ社会の実現。



四国地方整備局職員の働き方改革

職員の仕事もDXで効率化・高度化

- ・ RPA導入などによる業務の自動化や効率化を推進。また災害情報の収集効率化をはじめ日常管理の高度化・効率化を推進する。

効果

- ・ RPA導入を進めることによる職員の働き方改革(省力化)
- ・ 勉強会を通じた活用の展開

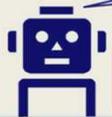
RPA等の導入による効率化について 【総務部会等】

■RPA導入状況の紹介

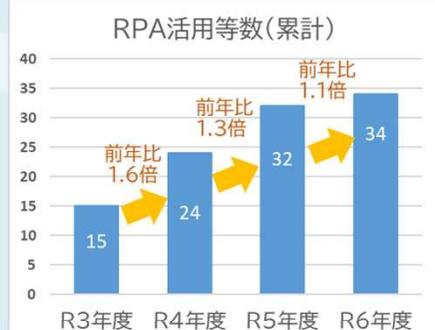
- ・ 開示決定通知書の自動作成(総務部会)

これからは、ソフトウェアロボットが自動的に実行へ

- (例)
- ・ RPA(ロボット)が紙の帳票を読み取り、電子データ化
- ・ 電子データやExcelデータを自動で既存システムへ入力



作業完了



RPAの活用数推移(総務部会)

■RPAの主な活用状況

人事課	諸手当届け出申請に対するメール送信の自動化 等
総務課	情報公開に関する通知書の自動作成 等
会計課	振込通知メール送信の自動化 等
契約課	企業信用情報の蓄積作業の自動化 等
厚生課	振込手続きの自動化 等

“生成AI型” BIM/CIM学習支援チャットボットをリリース!

【人材育成センター】

利便性

- ・ F&Q型から生成AI型(ChatGPT)に進化
- ・ RAG機能を搭載
- ・ アクセス方法はTeamsのチャンネルより利用可能

登録済みの文書一覧

- ・ BIM/CIM取扱要領(R7.3)
- ・ BIM/CIM活用ガイドライン(案)(R4.3)第1編共通編
- ・ 直轄土木業務・工事におけるBIM/CIM適用に関する実施方針(R7.3)同解説
- ・ 土木設計業務等の電子納品要領同解説(R6.3)
- ・ 第13回BIM/CIM推進委員会資料(R7.2.25)

*いずれも本省ホームページに掲載されているもの(機密性1情報)

BIM/CIMって何ですか?

使用者

四技チャットボット管理者

BIM/CIM~-----~

以下のドキュメントから回答生成しました

BIM/CIM活用ガイドライン第1編共通編.pdf (P8~)

・登録済み文章を元に回答を生成

■勉強会等の開催(一例) 職員の働き方改革への取り組み

開催日	対象・人数
RPA勉強会 / 令和7年8月1日	12名
DX勉強会 / 令和7年10~12月	合計50人程度
インフラDXセッション/第1回令和7年7月29日 第2回令和7年9月24日 第3回令和8年1月21日	第1回 約130名 第2回 約100名 第3回 約100名



RPA勉強会



(全国直技のイノベーション部門・最優秀賞受賞)

令和7年度の重点取り組み

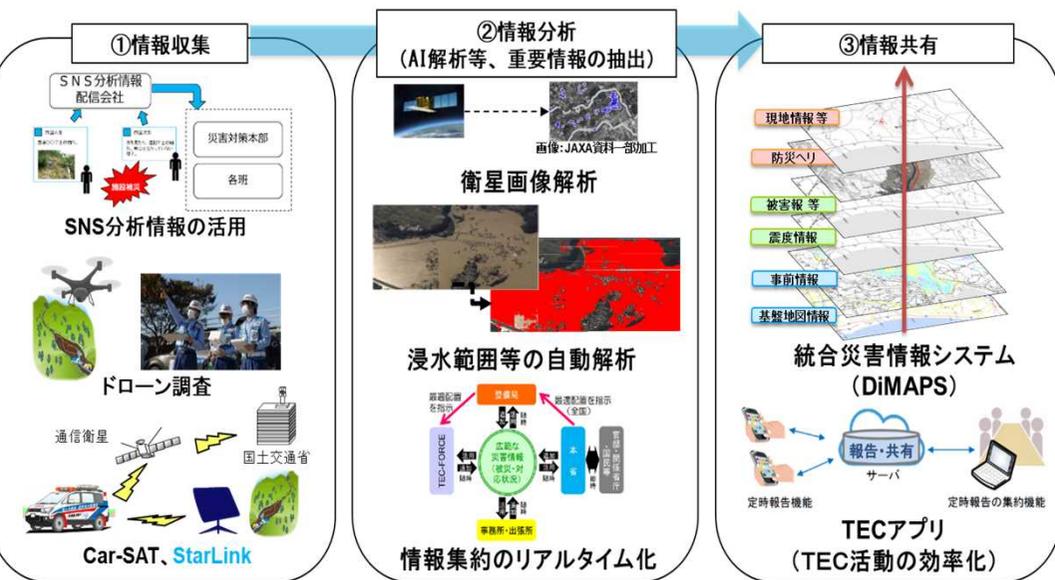
テーマ3：②「業務の取捨選択とデジタルツールの積極的活用」（代表事例）

四国地方整備局職員の働き方改革

防災対応・維持管理もDX

- 災害時の対応や維持管理における迅速化、また限られた人数で最大限の対応ができるよう省力化を実現するにあたり、災害情報の収集・分析・共有や維持管理の高度化・効率化を推進する。

防災DXの取り組み全体イメージ【防災部会】



①情報収集

既往のツールに加え、**SNS投稿の分析情報、StarLinkを活用**するなど、迅速な被害情報収集ツールを拡充

②情報分析

情報分析では、**AIを用いた浸水状況自動検出システム等により分析をリアルタイム化**

③情報共有

四国版DiMAPSやTECアプリを活用し、関係機関との情報共有体制を強化

ホットライン情報の集約方法の見直し

■Lists（簡易データベース）及びRPAの活用【防災部会】

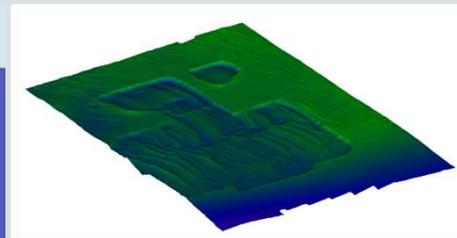
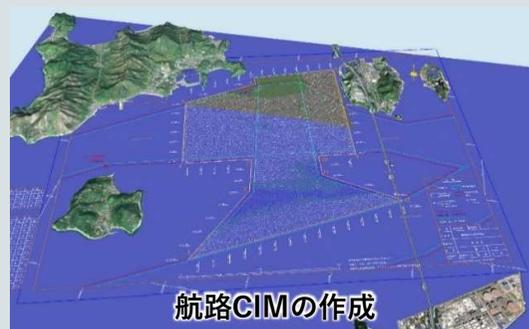


効果

- Form選択内容により相手方名等は画一的に自動設定
- RPAでのメール送信(周知)による誤送信防止
- 1つのデータベース(Lists)共有により情報共有の時間ロスゼロを実現
状況の共有による確認漏れも防止。

CIMデータを活用した航路維持管理【港湾部会】

保全測量(深淺測量)結果、浚渫工事後の出来形測量結果等を取り込み、CIMデータとして航路内の地盤変化状況を可視化し維持管理に活用。



その他のインフラDXの取り組み（代表事例）

地域建設業 担い手確保：生産性の向上 デジタル技術の展開～普段使いと新たな挑戦～

- 生産性、働き方改革に資する新しい技術を積極的に活用していく
- 導入が始まっている各種技術は普段使いへと活用場面を広げていく

効果

- ICTや各種技術の普及により作業時間の短縮による生産性向上やテレワーク等の新しい働き方へとつながることが期待

ICTの活用が拡大【各工事関係部会】

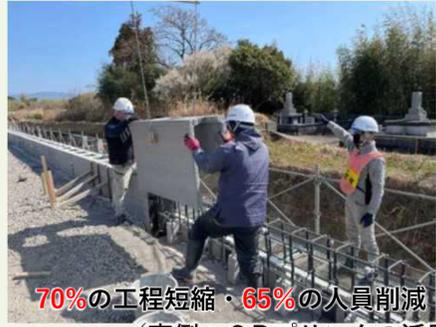
デジタル技術の活用拡大



(事例：UAVを用いた測量)



(事例：ICT建機の活用)



70%の工程短縮・65%の人員削減
(事例：3Dプリンタの活用)



準備、検測、検査等に要する時間短縮
65×6回=390分 (69%短縮)
(事例：AI配筋検査)



移動時間削減による
管理業務の効率化
(事例：監視カメラによるリアルタイム映像の配信)



写真管理業務の効率化
日平均30分→日平均15分：約50%の時間削減
回平均60分(2人)→回平均60分(1人)：約50%の人員削減
(事例：電子黒板、クラウドサービス)

好事例 ワンマン測量システムと連携した遠隔臨場

- ワンマン測量システムのタブレット上での数値確認と遠隔臨場を組み合わせ、確認の手待ち時間削減や確認書類の簡素化を実現



ワンマン測量

(事例：ICT活用工事事例集)



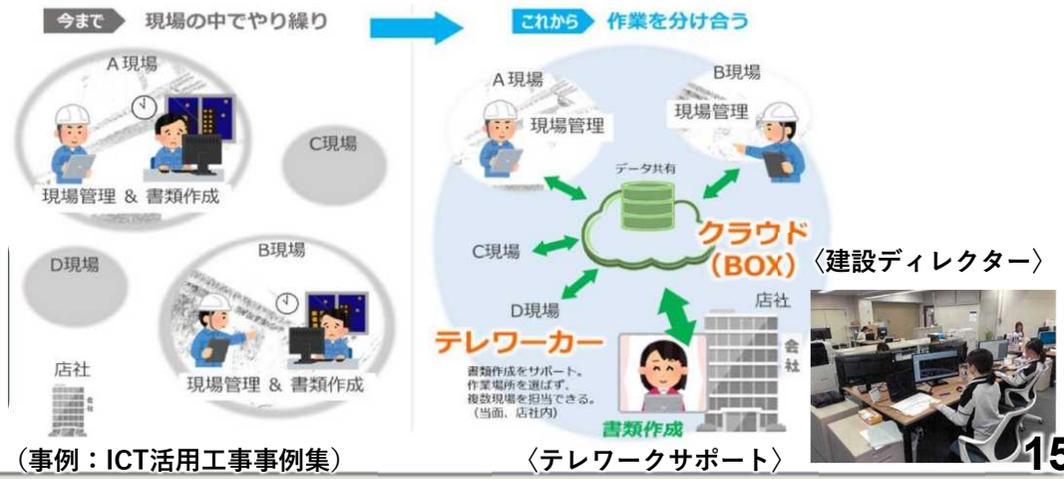
タブレットでの数値確認

効果

- 確認書類の簡素化
- 段階確認の待ち時間削減

〔Topics〕 建設ディレクターやテレワークサポートによる生産性向上

- 建設ディレクターやテレワークサポートを採用し、現場技術者の書類作成時間、残業時間を削減



(事例：ICT活用工事事例集)

〈テレワークサポート〉

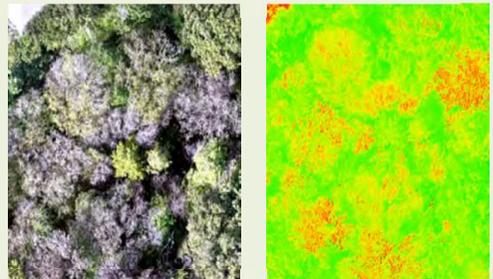
その他のインフラDXの取り組み（代表事例）

地域建設業 担い手確保：生産性の向上 維持管理・点検分野もDXで作業効率化

- ・ドローン、高感度望遠鏡、レーザー等を活用した新たな点検支援技術の現場実証を継続。
- ・維持管理、点検等の高度化・効率化を図る

公園の運営維持管理の効率化【建政部会】

■画像解析による樹木の健全度把握



3Dレーザースキャナによるデータ取得状況

■芝刈りの自動化・無人化



ロボットによる芝刈り作業

点検ロボを活用した港湾施設の維持管理【港湾部会】

点検ロボを活用した施設点検
水中ドローン等をはじめとした点検ロボを活用し、維持管理を効率化



水中ドローン
(ケレンイメージ)



水中ドローン
(肉厚測定イメージ)

(写真:令和7年2月4日、高松港にて実証試験を実施)

点検支援技術活用による道路点検の効率化【道路部会】



ドローンによる写真撮影状況

■点検支援技術の例
(国道33号 つづら川第7橋)



ひび検によるひびわれ自動検出例

効果

- ・ 損傷写真撮影や記録作業日数が約4割短縮
- ・ 橋梁点検車からの墜落等の危険性がなくなり安全性向上
- ・ 本線規制がなくなり、交通渋滞や交通災害を回避
- ・ 現場作業の短縮等により、点検コストが約3割減

排水機場・樋門等の遠隔操作化【河川部会】

- ・ 出水や津波等による急激な水位上昇時にも、迅速な閉鎖動作が可能
- ・ 維持修繕コストの縮減、樋門操作員の高齢化や後継者不足の解消、さらに大規模出水時における樋門操作員の安全確保が期待

機側操作盤

排水機場や樋門等の操作は、
現地で操作

遠隔監視操作システム(事務所)

事務所から操作複数施設の操作
が可能となる



<Before>

➔



<After>

